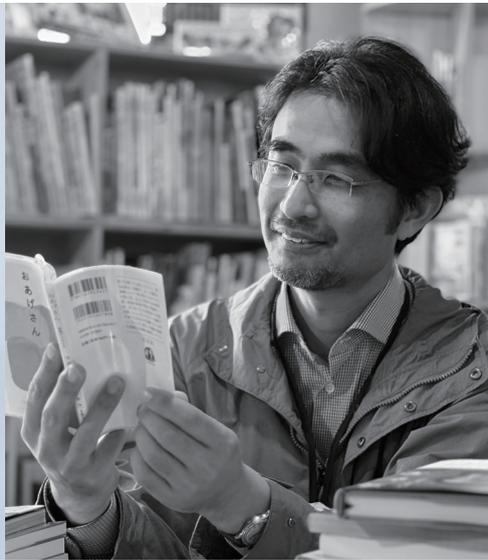


『京大マガジン』構想のためのスペシャルトーク

言葉と人間



三宅香帆 × 藤原辰史 × 三島邦弘

みやけ・かほ

1994年生まれ。高知県出身。文芸評論家、京都市立芸術大学非常勤講師。京都大学大学院人間・環境学研究科博士前期課程修了。京都天狼院書店元店長。著書に『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』（集英社新書）など。

ふじはら・たつし

1976年生まれ。島根県出身。京都大学人文科学研究所教授。専門は現代史。著書に『ナチスのキッチン』（共和国、河合隼雄学芸賞受賞）、『分解の哲学』（青土社、サントリー学芸賞）、共著に『中学生から知りたいパレスチナのこと』（ミシマ社）など。

みしま・くにひろ

1975年京都生まれ。ミシマ社代表。一冊!取引所の代表も務める。雑誌「ちゃぶ台」編集長。著書に『計画と無計画のあいだ』（河出文庫）、『出版という仕事』（ちくまプリマー新書）など。最新の編集本は『中年に飽きた夜は』（益田ミリ著）。

2025年12月17日(水)

18:00-19:30 受付開始 17:30

会場 芝蘭会館 稲盛ホール(京都大学医学部キャンパス) + ZOOMウェビナー

参加
無料

お申込みは
右記QRコードより

現地参加申込
先着200名



オンライン参加申込
先着100名



現地参加 | <https://forms.gle/C42aT71bfa5AYX3bA>
オンライン参加 | <https://forms.gle/i1QfrUzjCN1sLZwX6>
お申込みは定員に達し次第締め切らせていただきます

「自由と自主」の学問を実現する 「紙」の実験室をめざして

今年度、京都大学とミシマ社が共同で雑誌『京大マガジン』——「紙」の実験室——を企画するにあたり、その構想のためのオープンな場として、スペシャルトークを実施します。『京大マガジン』は京大の基本理念にある「自由と自主」の思想を体現することを目指して制作する、新しい雑誌です。背景には、現在の学問のあり方が本来あるべき姿から遠ざかっているのではないかと、という危機感があります。そこで、今回は登壇者に、京大出身で現在文芸評論家として活躍中の三宅香帆さんと、『京大マガジン』の編集長である藤原辰史先生（京大・人文科学研究所）、同じく京大出身で今回共同編集を務める三島邦弘さん（ミシマ社代表）をお迎えし、批評・大学・出版というそれぞれの場において「自由と自主」の学問の意味を問い直すべく、三者に共通する根源的なテーマ「言葉と人間」をめぐる、自由に語り合ってください。いま、あえて学問の「紙上」実験を構想するにあたり、何をなすべきか——ぜひ、みなさんの声もお聞かせください。

会場アクセス

芝蘭会館 稲盛ホール(京都大学医学部キャンパス)
市バス | 201系統、206系統、31系統、65系統
「京大正門前」下車、徒歩2分
※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください



主催：京都大学総合研究推進本部 研究プロモート部門

お問い合わせ：同上 TEL: 075-753-5177

Email: kura-jinsha@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp <https://www.research.kyoto-u.ac.jp/>



京都大学 総合研究推進本部
KYOTO UNIVERSITY
OFFICE OF RESEARCH ACCELERATION